

平成29年度 第2回新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 平成29年7月11日（火） 午後3時～5時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 多目的ホール

【出席者】 委 員：植田、河藤、松尾、酒井、前田、志村、加藤、富田、益田、太田、遠藤各委員
事務局：村上文化観光産業部長、太田産業振興課長、小泉文化観光課長、黒澤産業振興係長、
久野主任主事、後藤産業創造プランナー

【欠席者】 友成委員

【傍聴者】 2名

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議 事

- (1) 産業振興プランについて
- (2) 第3期報告書の作成について

3 主な発言内容

○産業振興プランについて

- ・新宿全体で共同理念をもって、しっかりまとまって動いていく、そういうものを表現できると良い。今の素案だとバラバラになっているように感じるので、共同体として進んでいくものにしたい。
- ・工業に関しては、工場の移転などで跡地がマンションに変容している。工業のこれからを危惧するマイナス面と人の往来が増えるプラス面の両方があるが、まちづくりとしてどのように考えていくのか。今後もこのような状態が続くと思うので、プランのどこかに書き込んでもらいたい。
- ・産業分野別にみると、商業や商店街に関するウエイトが弱い。新宿区の産業の特徴として、重要な産業だと書き加えてはどうか。
- ・新宿には色々なものが混在し、地域それぞれに特性や個性があり、それが新宿ではないかとの会議で議論してきたが、プランには書き込みがないので入れるべきではないか。
- ・全体的に文章が多いので図式化したほうが良い。まとまっているが薄い印象がある。成果をどこに持っていくのかが分からない。
- ・「新宿区の産業の特徴」が「施策の方向性」と直結していくことを考えると、今の章立てでは特色が見えにくくなっているのではないか。
- ・「基本目標」に盛り込まれているキーワードの一つに「地域に根ざした」という言葉があるが、外から来た企業が地域に根づく意味も含め、「根づく」というワードも検討してはどうか。
- ・「基本目標」が前述の課題を受けたものだということが分かるような表現にした方がいいのではないか。
- ・「安全安心」「人材育成」「組織」は産業を支える社会インフラである。「地域に根ざした産業の振興」を下支えするものとして位置付けると良いのではないか。
- ・「基本目標」から「施策の方向性」につなげるためには、どのような視点から施策を進めていくのかといったことを盛り込めないか。
- ・「基本目標」と「産業振興の視点」と「施策の方向性」との関連性は、文章だけの表現ではわかりにくいので概念図などがあると良い。
- ・一番の資源は「ヒト」だと思う。人材育成が一番大事で安全安心にもつながるのではないか。
- ・外国人観光客が増加する中、オリンピックが開催後もリピーターとなって何度も訪れてもらうことも書き入れたほうが良い。オリンピックだけに頼らないまちづくりを進めていくことを観光の箇所に入れてはどうか。

- ・持続的に発展していくということは、周りを巻き込み渦巻きになって発展していくものではないか。企業の集積地、一大消費地である新宿で地方の生産物を紹介・販売するなど、地方を巻き込むことは新宿の発展にもつながるのではないか。
- ・「施策の方向性」の「方向性」という言葉は弱く曖昧な印象である。施策として何を踏まえて講じていくのか、具体的な施策は何か、それに即したタイトルをつけるべきではないか。
- ・施策の方向性は「基本目標」のどこにフォーカスして打ち出したかを明確にしてはどうか。
- ・商店街の課題はリーダーシップを取れる人がいないことや組織力の低下が挙げられる。これから商店街を担う人には学ぶ場や話ができる場が必要で、そういう場の中でリーダーシップが生まれ、人材も育っていくのではないか。
- ・安全安心については課題や施策に盛り込まれていないが、企業にとっても重要で必要なことではないか。
- ・施策は関係部署のものを入れてはどうか。企業が利活用できるものは何かがわかると良い。

4 次回日程について (予定)

- (1) 専門部会 日時：平成 29 年 8 月 17 日 (木) 16:00 会場：BIZ 新宿 研修室C
- (2) 区長への報告 日時：平成 29 年 8 月 22 日 (火) 9:00 会場：新宿区役所本庁舎 3階 区長室

5 閉 会